



第32号

平成28年9月9日

発行 宮城県多賀城  
高等学校同窓会  
翔朋会

# 青春 (ごあいさつにかえて)

翔朋会会長 及川佳洋



「青春とは、人生のある期間ではなく、心の様相をいうのだ」から始まるサミュエル・ウルマンの「Youth」という詩の冒頭の言葉です。

この詩の最初の翻訳は岡田義夫さんという方だと言われていますが、その後何人かが翻訳され、近年では新井満さんのものが有名です。

この詩では、若々しさを保って生きるか、老いて行くかについて

人は信念とともに若く 疑惑とともに老いる  
人は自信とともに若く 恐怖とともに老いる  
希望ある限り若く 失望とともに老いるだけ  
人は老い

ない 理想を失う時に初めて老いがくる  
歳月は皮膚のしわを増やすが情熱を失う時に精神はしばむ  
と謳い、いつまでも若々しく、青春真つただ中を過ごすことに必要なのは  
誰にとっても大切なもの  
それは 感動する心  
次は何が起ころのだからと眼を輝かせる 子供のよう  
な好奇心  
胸をときめかせ 未知の人生に 挑戦する 喜び  
であるときいています。

人は皆、歳を重ねやがては死んでゆきます。しかし歳を重ねると同時に心までしまし  
せてしまう必要はなく、むしろいつまでも若々しく青春時代の  
中に日々を重ねたいと強く感じて  
います。それ  
も歳をとったということ  
となのかと思わなくもないと

題字紹介  
「翔朋」の題字は元本校  
教諭石山静代先生の  
筆によるものです

ころですが、最後にありますが、このたび翔朋会の公式ホームページを作成いたしました。多賀城高校のホームページからリンクできます。是非ご覧ください。

会員の皆さんが、いつまでも青春真つただ中で一層元気にますます活躍されることをお祈りして、ごあいさつにかえさせていただきます。

## 翔朋会役員(案)

- 会長 及川 佳洋 1 回生
- 副会長 石橋 和雄 2 回生
- 副会長 渡辺 文昭 3 回生
- 副会長 瀬戸口真弓 4 回生
- 監事 高橋 和人 5 回生
- 監事 武田 三弘 8 回生
- 監事 梅津 英久 2 回生
- 会計 菅原 伸泰 事務室長
- 書記 針生美由紀 4 回生
- 書記 横山 卓哉 8 回生
- 幹事 大内 昭浩 4 回生
- 幹事 菊地 紀栄 6 回生
- 幹事 千坂 成也 7 回生
- 幹事 磯 比呂志 8 回生
- 幹事 本郷 和重 8 回生

## 第38回 翔朋会総会のご案内

日時 平成28年10月15日(土)  
 総会 18:00~18:30  
 懇談会 18:30~20:30  
 会場 ホテル・キャッスルプラザ多賀城  
 会費 5,000円(当日会場で徴収致します。)  
 ※ただし38回生は1,000円

○同封のFAX用紙もしくはメール(アドレスはFAX用紙に記載)で9/30(金)までにお申込下さい。  
 ○今年度の回生幹事学年は、以下の8つの回生の方々です。

- 7回生 (昭60年3月卒業)
  - 17回生 (平7年3月卒業)
  - 27回生 (平17年3月卒業)
  - 37回生 (平27年3月卒業)
  - 8回生 (昭61年3月卒業)
  - 18回生 (平8年3月卒業)
  - 28回生 (平18年3月卒業)
  - 38回生 (平28年3月卒業)
- それぞれの同期の方をお誘い下さい。

## 事務局からのお知らせ

- ・年会費二〇〇〇円の納入にご協力ください。翔朋会の運営を充実させるため、母校の発展のために使わせていただきます。
- ・今年度から同窓会のHPを開設致しました。
- ・HP開設に伴い、紙による会報の郵送を止め、HP掲載に変更致しました。
- ・予算削減、情報発信の迅速化のためですので、ご理解

## ◎今年の進路状況 (合格者のべ人数)

国公立大学・大学院	32
私立大学	390
国公立短期大学	0
私立短期大学	16
専修(各種)学校・その他	41
就職(公務員)	11
合計	490

とご協力をお願い致します。なお、年会費納入の方には紙による会報を従来どおり送付致します。  
 ・卒業後の住所変更等は随時受け付けております。お名前や卒業年度(回生)、変更後の住所をご記入の上、同封のFAX用紙やメールにてご連絡下さい。  
 ・事務局の連絡先は  
 TEL022-3666-1255  
 FAX022-3666-1226  
 E-mail: chief @ tagajo-hs.myswan.ne.jp  
 になります。

# 多高新時代

校長 小泉 博



同窓生の皆さまにおかれましては、益々ご活躍のことと存じます。また、日頃から母校に対し多くのご支援を頂戴しておりますこと心から感謝申し上げます。お陰さまで、在校生は学習活動や部活動、学校行事等に生き生きと取り組み、大きな成果を上げております。今年度の進路実績や高校総体等の部活動の成績については、会報に詳細がございますのでお読みください。

今年度、多賀城高校は創立41年目を迎えるとともに災害科学科を開設しました。入学式後に行った学科開設式では、生徒代表が「もっと助かる命があったのではないかと、思いが募り、この学科で学び被災に貢献したい。」と誓いの言葉を述べ、記念講演では、東北大学災害科学国際研究所の今村文彦所長から「人の苦しみを敏感に感じとり、共に生きること原点を学んでほしい」と激励していただきました。災害科学科の1期生は元気に学校生活を送っておりますが、

教育目標は次の3つです。

- ① 「人とくらしを守る」高い志の醸成
- ② 幅広い分野で活躍できる人材の育成
- ③ 地域や小・中学校との連携による防災教育の充実

この教育目標を達成するため、理数系に軸足を置いたカリキュラムを編成するとともに学校設定科目を配置し、東北大学を始めとして県内外の大学や研究機関、行政機関などと連携して先進的で特色のある防災教育を推進しております。本校の防災教育は災害科学科だけでなく普通科の生徒も含めて取り組んでおります。

昨年度、本校はボランティア活動を文部科学省が定める「学校外の学修」として単位認定することとしました。このことは、進学や就職に際しての自己PRとして、高校時代に取り組んだボランティア活動を積極的に取り上げ、将来展望につなげることができるようにと考えたことによりです。また、3月には多賀城ロータリークラブからの提案を受け、ボランティア活動を生徒会全体として取り組むため、インターアクトクラブを創立しました。先輩方がこれまで地道に取り組んできたボランティア活動や奉仕活動が、地域から評価されたと考えております。

近年、本校は近隣の中学生からは特徴のない学校というイメージを持たれてきました。草創期の華々しい部活動の活躍は後発の隣接高校に譲り、公務員合格実績も志望者の減少

に伴って目立たなくなり、進学実績も難関大学突破までは伸びず、学校生活は落ち着いてきたものの特色を出せずおりました。しかし、防災教育のパイロット校として、さらには専門学科としての災害科学科の設置によって、多賀城高校の生徒の活躍が大きく取り上げられるようになりました。加えて、昨年度末にユネスコスクールへの加盟を申請し、東日本大震災を未来に、世界に伝えることを使命として、ESD（持続可能な開発のための教育）の概念に基づいて防災学習、自然科学学習、国際理解学習を学びの3本柱として教育活動を展開しています。

41年目の多高には地学室もできました。来年度には「学年を収容する研修ホールも建設されました。しばらく母校から遠ざかっていた卒業生の皆さまには、ぜひお立ち寄りいただき、後輩たちに激励の言葉を掛けてください。

## ボランティア同好会

三年三組 鈴木菜々子  
私達ボランティア同好会コージネスは、今年度も多賀城市の鶴ヶ谷児童館で行われた「第四十二回こどもまつり」や、「熊本地震の募金」などの様々なボランティア活動を行ってきました。

特に、「熊本地震の募金」は熊本で大きな地震が起きてすぐに、同好会のメンバーの中で自発的に始めようと動いた活動でした。顧問の小野先

生も手助けをして下さり、下馬駅、多賀城駅、多賀城高校で募金活動を行った結果、約四十万円もの金額が集まりました。

今後、コージネスではボランティアの依頼をしっかりとこなすのはもちろん、このように自分で考えて動くボランティアにも積極的に取り組んでいく予定です。

また、既に教室に掲示されているように、これからもボランティアの依頼は沢山あります。募金活動のものも来ますし、子供と遊ぶものもあります。同好会ではない方も、自分にあったものを選んで参加してみて下さい！

## 山岳部

### インターハイに向けて

三年七組 佐藤 風雅  
私たち山岳部は県総体にて男子が86・7点で優勝、女子が82・2点で三位入賞という結果となりました。男子は結果としてはよかったものの反省点は多く見つかり、全国に通用するレベルまでまだまだ届いていないと痛切に感じています。余計な減点を減らすことが、今後の課題となりそうです。

一方女子は人数が足りず経験の浅い一年生が出場してしまふという状況の中、三位に入賞できたという誇りに思います。悔しくも二位とは0.9点しか差がなく男女一緒に東北大会に出場することは叶いませんでしたが両チーム入賞はできたのでよかったです。インターハイに向けて私たちは

やらなくてはならないことが多々あり、その中でも特にインターハイは岡山県にて行われるため、今までの知識とは大きく異なる点があり、知識面を1から学び直さなくてはなりません。あまり時間はありませんが悔いのないよう力のかぎり山を堪能していきますので今後とも応援の程よろしく願います。

## 女子テニス部

### インターハイに向けて

三年一組 木村 優  
私たち女子硬式テニス部は今回の大会で、ダブルス一ペアが第三位、シングルス一名が第三位で東北大会・インターハイ出場を決めることができました。私たちの毎日の部活でのテーマは「Smile Win」です。どんなに辛い練習や、試合での不利な状況でも、イライラせずに笑顔でいれば、必ずチャンスが来るという思いが込められています。これが試合の時の大きな心の支えになりました。

また、私たちは週三回多賀城コートまで歩いていき、そこで部活をします。毎日がオムニコートだという訳ではなく不利なのですが、逆に三度しかない多賀城コートでの時間をとても大切にして、内容の濃い部活をすることができました。これらのことが今回の大会の結果につながったと思います。なので後輩には、この部のテーマと週三回のありがたみを感じ、東北大会出場できることを願っています。

# 2016 県高校総体結果

## ☆男子ソフトテニス部

団体戦 多賀城③-0松島  
1回戦 多賀城1-②仙台商  
2回戦 多賀城1-0松島  
個人戦 多賀城1-0松島

## ☆女子ソフトテニス部

団体戦 多賀城1-2富谷  
個人戦 鈴木・岩佐ペア  
鈴木・岩佐ペア  
佐々木・開保津ペア

## ☆男子テニス部

団体戦 1R  
多賀城0-2泉館山 (1R敗退)  
個人戦 シングルス  
4R進出 佐藤日比樹・赤間 廉・清水優也  
6R進出 日名晴輝 (ベスト32入り)  
ダブルス 佐藤日比樹・瀬戸川純平  
4R進出 乙坂凌雅・折戸 駿  
5R進出 日名晴輝・清水優也(ベスト32入り)

## ☆女子テニス部

団体戦 多賀城3-2宮城学院 (2回戦敗退)  
個人戦 多賀城1-3仙台商 (2回戦敗退)  
個人戦 太田園子・角田奈緒 (1回戦敗退)  
菅野晶恵・佐々木ひかり (3回戦進出)  
相澤有紀・平野菜緒 (3回戦進出)  
引地晴香・武田風香 (2回戦進出)  
個人戦 太田園子 (3回戦進出)  
菅野晶恵 (2回戦途中棄権)  
齋藤帆帆 (1回戦敗退)  
工藤綺乃 (1回戦敗退)

## ☆男子バスケットボール部

1回戦 多賀城72-65白桜×  
2回戦 ×多賀城53-80古川工業○

## ☆女子バスケットボール部

地区予選1次リーグ  
多賀城32-97宮城第一  
多賀城98-27仙台商第三  
地区予選代表決定トーナメント  
多賀城44-61生文大高

## ☆男子バレーボール部

1回戦 多賀城0-2生文大高(負)  
2回戦 多賀城2-0伊具(勝)  
3回戦 多賀城0-2聖和(負)

## ☆女子バレーボール部

1回戦 多賀城2-0伊具(勝)  
2回戦 多賀城0-2聖和(負)

## ☆柔道部

女子団体戦 多賀城2-0亘理  
男子個人 多賀城0-3東北  
予選リーグ第2位通過

## ☆男子バドミントン部

団体戦 多賀城3-1高専名取  
1回戦 多賀城0-3仙台商  
個人戦 多賀城0-3仙台商

## ☆女子バドミントン部

団体戦 多賀城3-2宮城学院 (2回戦敗退)  
個人戦 多賀城1-3仙台商 (2回戦敗退)  
個人戦 太田園子・角田奈緒 (1回戦敗退)  
菅野晶恵・佐々木ひかり (3回戦進出)  
相澤有紀・平野菜緒 (3回戦進出)  
引地晴香・武田風香 (2回戦進出)  
個人戦 太田園子 (3回戦進出)  
菅野晶恵 (2回戦途中棄権)  
齋藤帆帆 (1回戦敗退)  
工藤綺乃 (1回戦敗退)

## ☆女子バドミントン部

団体戦 多賀城3-2宮城学院 (2回戦敗退)  
個人戦 多賀城1-3仙台商 (2回戦敗退)  
個人戦 太田園子・角田奈緒 (1回戦敗退)  
菅野晶恵・佐々木ひかり (3回戦進出)  
相澤有紀・平野菜緒 (3回戦進出)  
引地晴香・武田風香 (2回戦進出)  
個人戦 太田園子 (3回戦進出)  
菅野晶恵 (2回戦途中棄権)  
齋藤帆帆 (1回戦敗退)  
工藤綺乃 (1回戦敗退)

## ☆男子バドミントン部

団体戦 多賀城3-2宮城学院 (2回戦敗退)  
個人戦 多賀城1-3仙台商 (2回戦敗退)  
個人戦 太田園子・角田奈緒 (1回戦敗退)  
菅野晶恵・佐々木ひかり (3回戦進出)  
相澤有紀・平野菜緒 (3回戦進出)  
引地晴香・武田風香 (2回戦進出)  
個人戦 太田園子 (3回戦進出)  
菅野晶恵 (2回戦途中棄権)  
齋藤帆帆 (1回戦敗退)  
工藤綺乃 (1回戦敗退)

## ☆女子バドミントン部

団体戦 多賀城3-2宮城学院 (2回戦敗退)  
個人戦 多賀城1-3仙台商 (2回戦敗退)  
個人戦 太田園子・角田奈緒 (1回戦敗退)  
菅野晶恵・佐々木ひかり (3回戦進出)  
相澤有紀・平野菜緒 (3回戦進出)  
引地晴香・武田風香 (2回戦進出)  
個人戦 太田園子 (3回戦進出)  
菅野晶恵 (2回戦途中棄権)  
齋藤帆帆 (1回戦敗退)  
工藤綺乃 (1回戦敗退)

## ☆男子バドミントン部

団体戦 多賀城3-2宮城学院 (2回戦敗退)  
個人戦 多賀城1-3仙台商 (2回戦敗退)  
個人戦 太田園子・角田奈緒 (1回戦敗退)  
菅野晶恵・佐々木ひかり (3回戦進出)  
相澤有紀・平野菜緒 (3回戦進出)  
引地晴香・武田風香 (2回戦進出)  
個人戦 太田園子 (3回戦進出)  
菅野晶恵 (2回戦途中棄権)  
齋藤帆帆 (1回戦敗退)  
工藤綺乃 (1回戦敗退)

## ☆女子バドミントン部

団体戦 多賀城3-2宮城学院 (2回戦敗退)  
個人戦 多賀城1-3仙台商 (2回戦敗退)  
個人戦 太田園子・角田奈緒 (1回戦敗退)  
菅野晶恵・佐々木ひかり (3回戦進出)  
相澤有紀・平野菜緒 (3回戦進出)  
引地晴香・武田風香 (2回戦進出)  
個人戦 太田園子 (3回戦進出)  
菅野晶恵 (2回戦途中棄権)  
齋藤帆帆 (1回戦敗退)  
工藤綺乃 (1回戦敗退)

## ☆男子バドミントン部

団体戦 多賀城3-2宮城学院 (2回戦敗退)  
個人戦 多賀城1-3仙台商 (2回戦敗退)  
個人戦 太田園子・角田奈緒 (1回戦敗退)  
菅野晶恵・佐々木ひかり (3回戦進出)  
相澤有紀・平野菜緒 (3回戦進出)  
引地晴香・武田風香 (2回戦進出)  
個人戦 太田園子 (3回戦進出)  
菅野晶恵 (2回戦途中棄権)  
齋藤帆帆 (1回戦敗退)  
工藤綺乃 (1回戦敗退)

決勝トーナメント進出  
準決勝 多賀城0-3柴田  
男子個人戦 73kg級  
阿部政弥 ベスト16  
女子個人戦 78kg超級  
長谷まりこ ベスト8  
長谷まりん ベスト8

## ☆サッカー部

地区総体  
多賀城0-1東北学院  
多賀城5-0仙台商青陵  
多賀城2-1仙台商  
多賀城0-0泉  
グループ第2位、県大会出場

## ☆男女卓球部

【男子】  
団体戦 1回戦 対石巻工 敗退  
個人戦 シングルス 蛭川晃介 1回戦勝、2回戦負  
【女子】  
団体戦 敗退  
個人戦 シングルス 菅原珠弥、佐々木南波、平間有紗 1回戦敗退

## ☆ソフトボール部

1回戦 多賀城6-1角田(勝)  
2回戦 多賀城3-2泉松陵(勝)  
3回戦 多賀城0-13石巻桜坂(負)

## ☆剣道部

男子団体 対古川工0-3  
対伊具 3-1  
1勝1負、予選リーグ第2位敗退  
男子個人 村上貴大 初戦敗退  
2年 千葉 廉 2回戦敗退  
女子個人 菅原寧々 初戦敗退

## ☆陸上部

【男子】  
2000m 宮下舞斗 準決勝進出  
4000m 三塚 龍 準決勝進出  
8000m 丹野照久 準決勝進出  
4000m 三塚 龍 準決勝進出  
4×1000mR (水戸樹・宮下舞斗・鈴木孝浩・三塚龍) 第10位

## ☆弓道部

男子団体 ベスト8  
個人戦 秋好元気 第7位  
女子団体 ベスト16  
個人戦 2次予選敗退

## ☆山岳部

【男子】 第1位  
東北大会・インターハイ出場  
団体戦 第3位  
【女子】 第3位

## ☆ラグビー部

合同C(多賀城・仙台商)  
1回戦 27-10利府  
2回戦 17-10白石工  
準々決勝 40-17仙台商 (第3シード)  
敗者戦 17-5仙台商 (県ベスト8)

## ☆水泳部

工藤大征 予選落ち  
50m自由形 予選落ち  
100m自由形 予選落ち  
木村海瑠 予選落ち  
200m個人メドレー 予選第10位  
400m自由形 予選第8位  
200m個人メドレー 予選第10位  
400m自由形 予選第8位  
男子400m自由形において  
東北大会出場

## 今年度の異動

★退職者 高橋 和照 教諭 再任用退職  
遠藤 敏郎 教諭 退職

★転出者 山内 尚 主幹教諭 小松島支援  
大橋 達 教諭 仙台商  
安部 稔 教諭 仙台商  
矢部 英 教諭 加美農業  
川嶋 伸二 教諭 泉館山  
荒井 理恵 教諭 泉松陵  
酒見 澄恵 養護教諭 特支小生田高等  
村上 貴宏 事務次長 教育庁施設整備課  
松尾 智子 養護講師 女川中学校  
佐藤 美穂 非常勤講師  
佐藤 彩香 非常勤講師  
榎戸 泉 スクールカウンセラー  
菅野 哲夫 キャリアアドバイザー  
高野 嘉雄 情報活用支援員  
今野 猛 情報活用支援員

★転入者 彰彦 教頭 高校教育課  
勝一 主幹教諭 仙台商  
小野 健一 教諭 荒浜中  
高橋 拓也 教諭 柴田農林(川)  
東館 俊幸 教諭 塩釜  
池田 昭典 教諭 仙台商  
岡元 潤一 教諭 田尻さくら  
谷島 順一 教諭 福島西(入事交流)  
遠藤 千夏 教諭 古川黎明  
菅野 美穂 養護教諭 新規採用  
渡邊 新 事務次長 図書館  
荒井 美穂 養護教諭 図書館  
佐藤 壮 事務次長 図書館  
高橋 伸也 非常勤講師  
佐藤 美穂 非常勤講師  
榎戸 彩香 非常勤講師  
梅田 千穂 非常勤講師  
正木 智也 非常勤講師  
小川 原 非常勤講師  
鈴木 好美 スクールカウンセラー  
近藤 和 推進コーディネーター  
小林 拓世 推進コーディネーター  
青砂 明子 情報活用支援員  
近藤 明子 緊急学級支援員  
臨時職員

平成27年度 翔朋会一般会計 決算報告

平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日

- 1. 収入の部 2,606,116円
- 2. 支出の部 1,821,271円
- 3. 残高 784,845円 (次年度へ繰越)

1. 収入の部 (単位：円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	備考
会費	1,568,000	1,562,400	▲ 5,600	3,600円×279人 卒業時入会金 2,000円×279人 卒業時會費
年度会費	2,000	231,790	229,790	同窓生より振込
繰越金	803,821	803,821	0	前年度より
雑収入	79	8,105	8,026	預金利息、寄付
合計	2,373,900	2,606,116	232,216	

2. 支出の部

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	備考
1. 運営費	40,000	25,394	14,606	
会議費	15,000	7,600	7,400	役員会お茶代など
通信費	15,000	1,230	13,770	切手代
需用費	10,000	16,564	▲ 6,564	コピー用紙、印紙代
2. 事業費	2,120,000	1,595,877	524,123	
総会費	100,000	0	100,000	
会報費	1,420,000	1,248,787	171,213	会報31号発行・会員宛会報発送
補助費	400,000	194,000	206,000	遠征費補助 11回
記念品費	170,000	153,090	16,910	卒業証書ホルダー 546円×279名+振込手数料756円
慶弔費	30,000	0	30,000	
3. 予備費	13,900	0	13,900	
4. 繰り出し金	200,000	200,000	0	周年行事のための積立金として
合計	2,373,900	1,821,271	552,629	

平成28年度 翔朋会一般会計 予算書 (案)

- 1. 収入の部 1,887,000円
- 2. 支出の部 1,887,000円

1. 収入の部 (単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
会費	1,100,000	1,568,000	▲ 468,000	2,000円×275人 卒業時入会金 2,000円×275人 卒業時會費
年度会費	2,000	2,000	0	同窓生より振込
繰越金	784,845	803,821	▲ 18,976	前年度より
雑収入	155	79	76	預金利息
合計	1,887,000	2,373,900	▲ 486,900	

2. 支出の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
1. 運営費	55,000	40,000	15,000	
会議費	15,000	15,000	0	役員会会議費
通信費	15,000	15,000	0	切手代など
需用費	25,000	10,000	15,000	紙、ファイルなど
2. 事業費	1,575,000	2,120,000	▲ 545,000	
総会費	200,000	100,000	100,000	総会補助
会報費	696,000	1,420,000	▲ 724,000	会報発行・発送 530,000円 HP維持管理 66,000円 外
補助費	400,000	400,000	0	遠征費補助
記念品費	249,000	170,000	79,000	卒業証書ホルダー (H28卒業生) 600円×275名=165,000円 多高印章パッチ (H28入学生) 300円×280名=84,000円
慶弔費	30,000	30,000	0	
3. 予備費	57,000	13,900	43,100	
4. 繰り出し金	200,000	200,000	0	周年行事のための積立金として
合計	1,887,000	2,373,900	▲ 486,900	

平成27年度 翔朋会 事業報告

平成27年 6月16日(火) 第1回役員会  
 9月10日(木) 第2回役員会  
 9月11日(金) 会報発行  
 10月17日(土) 第37回翔朋会総会  
 時間：総会17時～、祝賀会18時00分～  
 場所：ホテルキャッスルプラザ多賀城  
 会費：6,000円  
 幹事：回生幹事なし

※創立四十周年祝賀会のため

平成28年 2月18日(木) 第3回役員会  
 2月29日(月) 翔朋会入会式 (第38回生)  
 5月12日(木) 会計監査

平成28年度 翔朋会 事業計画 (案)

平成28年 6月17日(金) 第1回役員会  
 9月9日(金) 会報発行  
 10月4日(火) 第2回役員会  
 10月15日(土) 第38回翔朋会総会  
 平成29年 2月 第3回役員会  
 2月28日(火) 翔朋会入会式 (第39回生)  
 5月 会計監査

平成27年度 翔朋会特別会計 決算報告

1. 収入の部 (単位：円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	備考
繰入金	200,000	200,000	0	周年行事のための積立として一般会計より繰入
繰越金	2,978,822	2,978,822	0	前年度繰越金
雑収入	468	446	▲ 22	預金利息
合計	3,179,290	3,179,268	▲ 22	

2. 支出の部

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	備考
記念事業費	850,000	554,664	295,336	40周年記念事業会計へ拠出
合計	850,000	554,664	295,336	

監査報告

平成27年度翔朋会会計に関する収支帳簿と証書類を監査した結果、適正に処理されていることを認めます。

平成28年 5月12日

監事 高橋 和人

監事 武田 三弘

平成28年度 翔朋会特別会計 予算書(案)

- 1. 収入の部 2,825,000円
- 2. 支出の部 0円
- 3. 残高 2,825,000円

1. 収入の部 (単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
繰入金	200,000	200,000	0	周年行事のための積立として一般会計より繰入
繰越金	2,624,604	2,903,352	▲278,748	前年度繰越金
雑収入	396	458	▲ 62	預金利息
合計	2,825,000	3,103,810	▲278,810	

2. 支出の部

平成28年度は事業なし

平成28年度からの卒業生入会金の減額についての提案

平成28年度から、ホームページの開設に伴い、会報の発行部数を減らすこととしておりますが、それにより会報発行費の減額となり、収入過多の状態となります。

つきましては、今後3年生が卒業時に納めていただく同窓会入会金を減額することによって収支の均衡を図りたいと考えております。御了解願います。

- ・現在の入会金 3,600円
- ・改正後入会金 2,000円

別途掲載の平成28年度予算書は、入会金減額後で組んでいます。